

2. その他の報告

(1) 小笠原諸島の海藻類の多様性調査について

2007年5月10-12日にかけ、小笠原諸島父島において海藻類の多様性調査が行われた。参加者は7名(川井浩史, 川口栄男, 北山太樹, 内村真之, 島田 智, 一木重夫, 羽生田岳昭(敬称略))。調査結果の報告は日本藻類学会第33回大会で行う予定。

(2) 日本藻類学会第32回大会の日程について

東京海洋大学において2008年3月25-27日に開催されることが了承されていた日本藻類学会第32回大会の日程が、他学会の

大会日程との関係などから2008年3月21-23日に変更された。

(3) 平成19年度科学研究費補助金研究成果公開促進費「学術定期行物」の「Phycological Research」への申請について

昨年申請した上記補助金研究成果公開促進費「学術定期行物」については、採用されなかった旨、日本学術振興会から連絡があった。「国際情報発信のための取り組みが少し弱い」との意見があったことが付されていたほか、予算の大幅な減少に伴い、採択率が下げられた状況の説明が付されていた。

学会・シンポジウム情報

2007年9月7日(金)～9日(日)

日本植物学会第71回大会(東京理科大学理工学部, 野田) [<http://bsj.or.jp/bsj71/>]

2007年9月10日(月)～13日(木)

10th International Colloquium on Endocytobiology and Symbiosis (Gmunden, Austria) [<http://www.endocytobiology.org/>]

2007年10月1日(月)～5日(金)

北海道大学21世紀COEプログラム「新・自然史科学創成」国際シンポジウム「The Origin and Evolution of

Natural Diversity」(北海道大学学術交流会館, 札幌) [<http://nature.sci.hokudai.ac.jp/symposium/origin.html>]

【注目!】藻類関係ではProf. Medlin (Alfred Wegener Institute for Polar and Marine Research) が講演される予定です(2日午後)。

2007年11月10日(土)

藻類談話会(奈良女子大, 奈良) [下記]

2008年3月21日(金)～23日(日)

第32回大会(東京海洋大, 東京) [次号]

2007年度「藻類談話会」のお知らせ

「藻類談話会」は藻類を研究材料とする幅広い分野の研究者の集まりで、西日本を中心に講演会や研究交流を行っています。今年度は以下の講演を企画しています。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時: 2007年11月10日(土) 13:00-17:00

場 所: 奈良女子大学文学部北棟 N201 教室 (奈良市北魚屋西町)

講演予定(敬称略)

羽生田岳昭(神戸大・内海域): 閉鎖性海域におけるアオサ類の多様性と越境移入について

中西 敬((株)総合科学・海域環境部): 海藻を用いた海域環境再生の試み

門田 純(理研・フロンティア): ボルボックス胚の形態形成運動の変異体 InvE の解析

野口哲子(奈良女子大・理): 微生物の脂質生産—単細胞緑藻 *Botryococcus braunii* の炭化水素生成の細胞学的解析—

参加費: 500円(通信費など)。

談話会終了後、学内の生協食堂で懇親会が予定されています(会費: 一般3,000円, 学生1,500円)。談話会および懇親会の参加希望者は10月31日(水)までに電子メールかファックスで下記の宛先へお申し込みください(当日参加も可)。また最新情報は下記ホームページに適宜、掲示しますのでご覧ください。

会場への道順: 近鉄奈良駅から、北へ徒歩約5分。

アクセスマップ <http://www.nara-wu.ac.jp/accessmap.html>

キャンパスマップ <http://www.nara-wu.ac.jp/campus.html>

参加申込・問合先

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

京都大院 人間・環境学研究科 幡野恭子

TEL: 075-753-6854 FAX: 075-753-6694

E-mail: kyokohat@bioh.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

2007年度藻類談話会ホームページ <http://biotech.nikkeibp.co.jp/100HP/> より「バイオ・基礎医学関係者の皆のホームページ」→「学会・研究会」の項目をお選びください。